

## I 目指す姿

東播磨地域は、中央部に県下最大の河川「加古川」が流れ、南部は播磨臨海工業地帯の中央にあり、県下で最も製造品出荷額が多い地域である。

また、いなみ野台地では「加古大池」をはじめとする個性豊かなため池が数多く密集しており、地域全体に海・川・ため池などの豊かな水辺空間が広がっている。これらの地域資源を大切に守り生かしながら、自然と地域が共生できる持続可能な地域づくりの展開を図ってきた。

人口の流れに目を向けると、管内には大企業に関連する優良な中小企業が多く、また自市町内もしくは近隣市町への通勤者が多い中で、0～14歳、20歳代後半～40歳代前半の子育て世代が、公共交通の充実した地域に転入している。一方、20～24歳人口の転出超過が大きい傾向にあり、この世代の転出抑制に向けて、地域内で家庭を持ち子育てする環境を整えるため、働く場を確保するとともに、広域的に交通の利便性を高め、安心して生活を送ることができる地域づくりを進める必要がある。

このため、「人・もの・情報が交流する魅力と賑わいの拠点づくり」、「いきいきと暮らせる安全安心なまちづくり」、「安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり」、「東播磨の特性を活かした産業の活性化と働く場づくり」を進める。

また、新型コロナウイルスにより日々の暮らしや社会の有り方が大きく変化しているとともに、新たにSDGsや公民連携、DXが社会を取り巻くキーワードとして地域づくりの共通基盤となってきた。そんな中、東播磨地域ビジョン2050で掲げた「水辺・ものづくりのまちでつながりワクワクする未来」を基本理念として、以下の3つの将来像の実現を目指す。

- (1) 誰もが自律し、健康で快適な生活を送る社会
- (2) 防犯・防災の基盤が整い、力強い産業が活力を生み出す社会
- (3) 自然環境の営みを大切に、地域内外の交流が広がる社会

### 【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
観光客入込数		9,520千人	9,640千人	9,760千人	9,880千人	10,000千人
	9,403千人(H30)	6,151千人	R5年3月 公表予定			
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合 ※		63.8%	64.4%	65.0%	65.6%	66.2% R1の全県平均並み
	全県 66.2%(R1) 東播磨 63.1%(R1)	65.2% 66.4%	66.8% 70.3%	64.7% 66.1%		
住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合 ※		31.4%	32.1%	32.8%	33.4%	34.0% R1の全県平均並み
	全県 34.0%(R1) 東播磨 30.7%(R1)	37.2% 29.2%	34.4% 32.1%	— —	— —	
住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合 ※		72.1%	74.0%	75.8%	77.6%	79.4% R1の全県平均並み
	全県 79.4%(R1) 東播磨 70.2%(R1)	84.0% 78.6%	79.6% 82.3%	70.3% 73.1%		

刑法犯認知件数		4,704 件	4,295 件	3,886 件	3,477 件	3,068 件 ※R1 の 60%
	5,113 件(R1)	4,240 件	3,786 件	R5 年 3 月 公表予定		
管内の交通事故件数		3,197 件	3,029 件	2,861 件	2,693 件	2,525 件 ※R1 の 75%
	3,366 件(R1)	2,542 件	2,581 件	2,499 件		
住んでいる地域は、 子育てがしやすいと 思う人の割合 ※		前年度を 上回る	前年度を 上回る	前年度を 上回る	前年度を 上回る	前年度を上回る
	全県 55.4%(R1) 東播磨 62.6%(R1)	55.9% 65.1%	58.8% 71.5%	— —	— —	
お住まいの市・町の 公共交通は便利だと 思う人の割合 ※		48.5%	49.6%	50.6%	51.6%	52.6% R1 の全県平均並み
	全県 52.6%(R1) 東播磨 47.4%(R1)	38.7% 55.5%	56.2% 56.6%	59.4% 56.7%		
東播磨地域における 若年者（20～24 歳） の転出超過数		転入・転出 均衡	転入・転出 均衡	転入・転出 均衡	転入・転出 均衡	転入・転出均衡
	544 人(H30)	703 人	744 人	831 人		
新規就農者数		20 人/年	20 人/年	20 人/年	20 人/年	20 人/年
	20 人/年(R1)	13 人	24 人	R5 年 7 月 公表予定		
管内の製造品出荷額		県民局別 1 位	県民局別 1 位	県民局別 1 位	県民局別 1 位	県民局別 1 位
	県民局別 1 位(R1)	県民局別2位	R5 年 7 月 公表予定			

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

KPI の「住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合」、  
「住んでいる地域は、子育てがしやすいと思う人の割合」については、令和 4 年度から「兵庫のゆたかさ  
指標」の設問項目ではなくなったため調査結果なし。

## Ⅱ 対応の方向性

### （地域の元気づくり）

- 1 地域資源を更にブラッシュアップを図るとともに、地域資源を連携させることにより「点」から「線」、さらには「面」として地域の魅力を創出する。
- 2 地域防災力の向上と住民が安全安心を実感できる施策を展開する。

### （人口対策）

- 1 安心して結婚・出産・子育てができるよう、ライフステージの様々な段階に対応した施策を展開するとともに、スマートシティの取組とともに、地域交通の最適化を進める。
- 2 地域資源を活用し、小学生からの「ふるさと意識」の醸成や若年層の雇用の場の確保、近郊農業の地の利を活かした農産物生産、新規就農による雇用創出などの施策により、東播磨地域への定着・移住を進める。

## Ⅲ 具体的な取組

### （地域の元気づくり）

## 1 人・もの・情報が交流する魅力と賑わいの拠点づくり

### (1) 魅力と賑わいの拠点づくりの推進

産官学連携による空き家を活用したまちの再生等に取り組むとともに、フィールドパビリオンを充実させ、国際ロゲイニング大会など体験を含めた滞在型観光客の誘客に向けた取組を行う。

#### 【主な事業】

- ① 産官学連携による東播磨地域の空き家を活用したまちの再生《新規・1,118千円》
  - ・古いまち並みの残る地区に学生ラボ（研究室）を設置し、空き家を活用したまちの活性化方策を検討
  - ・空き家活用の可能性を探る社会実験や、市町や企業と連携した推進体制づくり
- ② INAMINO ため池 SDGs プロジェクト《新規・1,861千円》
  - ・「ひょうごフィールドパビリオン」として多くの来訪者が見て、学び、体験できるよう、公民学連携による多言語サインやフォトスポットの整備

### (2) 交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築

鉄道の連続立体交差に向けた検討を進めていくほか、東播磨道の整備、国道2号の4車線拡幅、渋滞交差点対策を行うほか、市町と連携し、播磨臨海地域道路の都市計画・環境影響評価手続を進める。

#### 【主な事業】

- ① 駅周辺の拠点整備・活用《ー》
  - ・ JR 東加古川駅付近、山電高砂市域の連続立体交差事業の調査・検討
  - ・ 曾根停車場線の歩道整備
- ② 多彩なネットワークの構築《ー》
  - ・ 東播磨道(加古川市)、国道2号(明石市、加古川市)の4車線拡幅、宗佐土山線(稲美町)のバイパス整備
  - ・ 明石高砂線(相生橋西詰)、宗佐土山線(土山)等の渋滞交差点対策

### (3) 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残るふるさと意識の醸成

豊かな海の再生やコウノトリが飛来する地で「いなみ野ため池ミュージアム」を進めるとともに、河川敷におけるマラソン・サイクリング・プロギング等を通じた交流促進により、豊かな水辺をいかした賑わいの拠点づくりに取り組む。

#### 【主な事業】

- ① いなみ野ため池ミュージアムの推進《15,333千円》
  - ・ ため池や疏水を“守り活かし次世代へ継承する”取り組みを推進するとともに、持続可能な地域づくりを展開
- ② ため池レガシーを次世代へつなぐプロジェクト《2,231千円》
  - ・ 小学校6年間の継続したため池・疏水学習などふるさと教育の推進
- ③ ため池コウノトリプロジェクト《1,300千円》
  - ・ 生息環境整備や地域活性化に向けたモデル的な取組の支援
- ④ 東播磨フィールドステーション事業《7,405千円》
  - ・ 地域課題解決に向けた新たな仕組みづくり

## 2 いきいきと暮らせる安全安心なまちづくり

### (1) 地域防災力の向上

近年、全国各地で甚大な自然災害が頻発していることから、治水や地震対策を推進するとともに、住民が主体的に取り組む防災活動を支援する等、地域防災力の向上を図る。

#### 【主な事業】

- ① ジュニア・地域防災スクールの開催《639千円》
  - ・ 小中学生及びその保護者に対して、防災講義や緊急搬送訓練等を実施
- ② ため池保全管理省力化事業《2,500千円》
  - ・ 草刈り管理の省力化のためのグランドカバープランツの植栽、管理用足場などの整備

### (2) 安全な自転車利用環境の構築

自転車レーンや案内看板の整備、サイクリングイベントの開催など、誰もが安心して自転車を利用し、活用出来る環境を構築する。

#### 【主な事業】

- ① サイクリングライフを楽しむまちづくり《4,500千円》
  - ・ サイクリングモデルルートを活用したサイクリングイベントの開催
  - ・ サイクリング利用環境整備（舗装修繕、案内板設置等）
  - ・ SNS(Instagram)を活用した情報発信
- ② 自転車レーンの整備《-》
  - ・ 明石高砂線（高砂市役所周辺等）

## (人口対策)

### 1 安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり

#### (1) 様々なライフステージに対応した子育て施策の推進

子育て世代の転入や、若者の定着促進に向け、安心して結婚・出産・子育てができるよう、雇用・就業支援、出会いの機会の提供、仕事と家庭の両立のために地域や企業と一緒に育ち育つ子育て支援などの充実を図る。

#### 【主な事業】

- ① 子育て応援ネットの推進《80千円》
  - ・ ネットワーク交流大会にて子育て家庭応援推進員を対象とした専門研修を開催

#### (2) スマートシティの推進

安全安心で快適性や利便性の高い社会サービスが提供されるスマートシティの取組を推進する。

**【主な事業】**

- ① 地域 BWA 網を活用したシステムの展開 《675 千円》
  - ・ 公共施設の混雑度合を可視化するシステムについて、管内市町への普及促進
- ② デジタル化支援による地域団体の活性化 《1,144 千円》
  - ・ 自治会運営の円滑化に資する電子回覧システムのマニュアル展開

**(3) 健康・福祉の充実**

食や健康、保育や介護などの様々な分野における新たな仕組みを検討・構築し、子育て世代を支援する。

**【主な事業】**

- ① チャレンジショップ「きずな」の支援事業 《197 千円》
  - ・ 庁舎1階チャレンジショップ「きずな」の安定運営、売上向上の推進
  - ・ きずなふれあいマーケットの拡大
  - ・ 対面販売以外の手法による販売拡大

**2 東播磨の特性をいかした産業の活性化と働く場づくり**

**(1) 東播磨ものづくり企業の魅力発信**

未来を担う子どもたちが地元企業に愛着を持てるよう、ものづくり企業などの体験ツアーの実施や、地域内外の大学生や高校生等の若者に地元企業の魅力をPRする機会を作り、若者の就業に結びつく支援を実施する。あわせて、その魅力を国内外に発信し、販路拡大にも取り組む。

**【主な事業】**

- ① 東はりまの魅力 KIDs 体験ツアー 《1,253 千円》
  - ・ 小学生等を対象にした工場見学等を行う体験型バスツアーの実施
- ② 東播磨ものづくり企業の魅力発信事業 《4,469 千円》
  - ・ 就職イベントによる管内中小企業等の魅力PRや東播磨地域への就職促進
  - ・ 中小企業の国内外における展示会への出展支援等

**(2) スマート農業の推進**

農業従事者の高齢化や担い手不足が進行しているなか、地域農業の維持・発展のため、ICT等を活用したスマート化を図ることにより、作業の省力化や生産性の向上、高品質化とともに、データ活用など農業経営の高度化及び働きやすい環境づくりによる持続可能な農の推進を支援する。

**【主な事業】**

- ① 東播磨地域農業スマート化推進事業 《3,600 千円》
  - ・ ICT、ドローン等先端技術や労力軽減、品質向上等を図る技術の導入支援（直進アシストトラクター、ドローン、ラジコン草刈機など）